

试卷编号: B 卷

# 河南师范大学

## 二〇一一年硕士研究生入学考试业务课试卷

科目代码: 622 名称: 基础日语 适用专业或方向: 外国语言学及应用语言学  
(必须在答题纸上答题, 在试卷上答题无效, 答题纸可向监考老师索要)

一、次の文の\_\_\_\_\_にはどんな言葉を入れたらよいか。最も適当なものを一つ選びなさい。(2×15=30点)

(1) 私は歴史、とりわけ\_\_\_\_\_。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1、中国史に興味がある | 2、地理もきらいではない |
| 3、好きなものはない  | 4、興味を持っている   |

(2) すみません、もう少し時間がかかりますので、こちらで\_\_\_\_\_でしょうか。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1、待たせていただきます  | 2、待たされてくださいます |
| 3、お待ちしてくださいます | 4、お待ちいただけます   |

(3) いかに流行に左右されたくないとはいえ、\_\_\_\_\_。

- |                         |
|-------------------------|
| 1、少しも流行をとり入れたら売れなかった    |
| 2、少しは流行をとり入れなければ売れないだろう |
| 3、少しも流行をとり入れないだろう       |
| 4、少しは流行をとり入れれば売れない      |

(4) 一度やると決めたからには、最後までやり\_\_\_\_\_。

- |       |      |      |       |
|-------|------|------|-------|
| 1、あげろ | 2、ぬけ | 3、きれ | 4、つくせ |
|-------|------|------|-------|

(5) 難しい試験だから、後10分\_\_\_\_\_としよう。

- |       |         |        |       |
|-------|---------|--------|-------|
| 1、負ける | 2、お安くする | 3、割り引く | 4、値引く |
|-------|---------|--------|-------|

(6) 「素敵なお着物を\_\_\_\_\_いらっしゃいますね。」

「いいえ、とんでもありません。母譲りのお古なんです。」

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1、お着になって  | 2、召し上がって  |
| 3、お着になられて | 4、お召しになって |

(7) 我が\_\_\_\_\_を行く

- |      |     |      |      |
|------|-----|------|------|
| 1、道路 | 2、道 | 3、通路 | 4、通り |
|------|-----|------|------|

(8) 日本人でも敬語を\_\_\_\_\_話せる人はいない。

- |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 1、ぺろりと | 2、きちんと | 3、きりりと | 4、おいそれと |
|--------|--------|--------|---------|

(9) 父は自分ではまだわかい\_\_\_\_\_でいる。

- |       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 1、つもり | 2、こと | 3、わけ | 4、はず |
|-------|------|------|------|



(10) その計画の\_\_\_\_\_は順調にすすんでいる。

- 1、支度            2、準備            3、段取り            4、実行

(11) 「お宅のステレオの音\_\_\_\_\_ならないでしょうか。」

「すみません。息子によく言いますから……。」

- 1、なんと            2、なんか            3、なんとなく            4、なんとか

(12) 7月末から8月初めに\_\_\_\_\_原稿を執筆した。

- 1、いたって            2、およんで            3、かけて            4、とおして

(13) 「今コーヒーを飲みに行くところですが、一緒にどうですか。」

「ええ、\_\_\_\_\_。」

- 1、ぜんぜん            2、とても            3、ぜひ            4、たいへん

(14) いつもニコニコしている先生のことだから、さぞ優しい先生だろうと思いきや、\_\_\_\_\_。

- 1、思ったとおりの先生だった            2、全く反対の先生だった  
3、やはりやさしい先生だった            4、とてもまじめな先生だった

(15) 母校の優勝が決まる\_\_\_\_\_、生徒たちの興奮は頂点に達した。

- 1、か            2、に            3、は            4、や

二、次の日本語を中国語に訳しなさい (2×5=10点)

1. このゲームは頭の運動になる。
2. 船に酔って食べた物を上げる。
3. 安い物は高い物。
4. 年(ねん)が明けた。
5. いまこの映画をみておかなければうそだ。

三、次の中国語を日本語に訳しなさい (2×5=10点)

1. 你说这话是什么用意?
2. 现代科学技术正在经历着一场伟大的革命。
3. 他们家人口不多。
4. 我们可以利用他们的矛盾, 这里面有文章可做。
5. 被一个难词卡住, 无法把握整体含义。

四、次の本文を読んで、後の問いに答えなさい。(19点)

今日、完全に機械の時代である。多くの単純労働において、機械は人間よりはる



か多くの能力を発揮することは、すでに十九世紀において明らかになった。そしてやがて複雑な労働すら、機械は人間にかわってすることが出来るようになった。そして最後に、頭脳労働においてすら機械は、人間に優るようになった。勤勉は唯一絶対の価値であることを失うのである。

[ 1 ] 汗水たらした労働より、むしろゆとりをもった自由な思惟が、技術の発明に好都合であることが多いからである。機械は人間よりはるかに勤勉ですらある。

[ 2 ]、①勤勉は、価値の王座からおちる。それと共に、繁栄ももはや価値の王座に、君臨することができない。なぜなら、繁栄は、現在、先進的資本主義国にはほぼ実現されはじめた価値であるからである。もちろん物質的繁栄には限りがないが、今、物質は先進国において、そろそろ過剰になりはじめているのである。しかもその繁栄には、自然が犠牲に供されるのである。[ 3 ] 自然を自己の意志によって征服することが、ここで繁栄の条件であるが、このように、人為により痛めつけられた自然が、人間に復讐しないかどうかの問題である。

今日、( A ) は、その調和を乱しつつある。緑の山野は、一面に枯れ山となり、清流は濁流となり、野生の獣はもちろん鳥や魚も一日一日少なくなる。大都会のコンクリートの中にあって、人間が果たして生きることが出来るかどうかは、はなはだ疑問である。公害の問題は、そういう自然破壊の一つの現れであろうが、病はもっと根本的なところにある。このような繁栄と自然征服という価値がゆらぎはじめてきているのである。

そして最後に ( B ) も文明の目標でなくなる。進歩の思想において、未来は現在よりよくなるという観念がある。ここでは現在とは現在として価値あるのではない。むしろ現在は、未来のために是認されるのである。②こういう人生観のみが価値をもつとき、われらは、父や母より価値あるが、われらの子はわれらより価値があるということになる。[ 4 ] そういう信念によって、進歩的な学生諸君は、父母や教師や大学を否定した。

[ 5 ]、今日この勤勉—繁栄—進歩の価値観が急速にくずれていく。代わって遊び—自然—自由の価値観が、価値として登場してくる。ヒッピーの思想は、こういう新しい時代のはしりである。そこでは、一切の労働からはなれ、自由で、自然に帰った生活を送ることが、人間の理想となる。こういうヒッピー族が技術文明の先進国であるアメリカにおいてもっとも多く出ていることに注意したい。

(中略) 私は一言だけ言っておきたい。勤勉—繁栄—進歩の価値観は崩壊しようとしている。それに代わって、遊び—自然—自由が、③新しい価値観として立てられようとしているとしても、なおそのような価値観は人類を長い間ささえる ( C )



とならないであろう。なぜならいったん文明の本の実を食べた人間は、再び、非文明へ逆転することは出来ないからである。対立する二つの価値観を調和する点を発見すること、そのへんに新しい文明の原理は見つけ出されると私は思う。

(梅原猛『日常の思想』集英社より)

[設問]

問1 文中の[ ] 1～5に入る適語を、次の語群より選びその記号を記しなさい。  
(各1点×5=5点)

語群：ア しかし イ じじつ ウ なぜなら エ かくして オ つまり

問2 文中の( ) A～Cに入る適語を文中の語を用いて記しなさい。  
(各2点×3=6点)

問3 下線部①「勤勉は、価値の王座からおちる」と同じ内容の言葉を本文より20字以内で書き出しなさい。(2点)

問4 下線部②「こういう人生観」とはどのような人生観なのか。次より最も適切なものを選び、その記号を答えなさい。(2点)

- ア 現在は未来のために是認されるという人生観。
- イ 未来は現在よりよくなって欲しいと願う人生観。
- ウ 現在は現在として価値があるのではないという人生観。
- エ 子供は父や母より純粋であるという人生観。

問5 下線部③「新しい価値観」が目指す姿とはどのようなことか、文中の説明より30字以内で書き出しなさい。(2点)

問6 筆者が主張していることで、次より最も適切なものを選び、その記号を答えなさい。(2点)

- ア 勤勉—繁栄—進歩の価値観は今日では無意味なものとなっている。
- イ 今日では、勤勉—繁栄—進歩の価値観が急速に崩れてきている。
- ウ 遊び—自然—自由という新しい価値観も期待できない。
- エ 対立する二つの価値観を調和させることが幸福への近道である。

五、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(共31点)

### ネパールのビール

(これから読む文章は、“文藝春秋”という総合雑誌の『ちかごろ私はいちばん泣いた話』という特集のために書かれたもので、著者がネパールに撮影に行ったときの体験を書いたエッセイです。)



①4年も前のことだから、正確には「ちかごろ」ではないのだが、私にとってはきのうの出来事よりずっと鮮烈な話なのである。

昭和 60 年の夏、私は撮影のためにヒマラヤの麓、ネパールのドラカという村に 10 日あまり滞在していた。海拔 1500 メートルの斜面に家々が散在して、はりつくようにひろがっている村で、電気、水道、ガスといったいわゆる現代のライフ・ラインはいっさい来ていない。

4500 の人口があるのに、自動車はもちろん、車輪のある装置で他の集落と往来できる道がないのだ。〔中略〕むかしのことは知らず、いま村人たちは、自動車の通れる道路をふくむいっさいのライフ・ラインに恵まれていない自分たちの生活が、世界の水準より下だと熟知している。(A そうすると/しかし/といっても/だから)、旅行者の眼には桃源郷のようにみえる美しい風景のなかで、かなりつらい思いで暮らしているのだ。とりわけ若者たち、子どもたちには、村を出て電気や自動車のある町へ行きたいという願望が強い。それも無理ではないのであって、私たちにしても、車が使えないここでの撮影は毎瞬が重装備の登山なのだ。車でこられる最終地点から村までは、15 人もポーターを雇って機材や食料を運んだのだが、余分なものをいっさい割愛せざるを得なかった。

まっさきに諦めたのがビールである。なにより、重い。アルコールとしてなら、ウイスキーのほうが効率的だ。それを 6 本、1 人 1 本半ぶんずつ持てば、4 人で 10 日間なんとかなるはずだ、という計算で諦めた。

(B しかし/だから/ところで/そういえば)、②ウイスキーとビールとでは、その役割がちがうのである。

大汗をかいて一日の撮影が終わったとき、眼の前に清冽な小川が流れているので思わず言った。「ああ、これでビール冷やして飲んだら、うまいだろうなあ」と。

スタッフ全員で協議した末に諦めたビールのことを、いまさら言うのはルール違反である。しかし、私が口にしたその③禁句を聞きとがめたのは、私の同僚ではなくて、村の少年チェトリ君であった。

「いま、この人は何と言ったのか」

と通訳にきき、意味がわかると眼を輝かして言った。

「ビールがほしいのなら、ぼくが買ってきてあげる」

「……どこへ行って?」

「チャリコット」

——チャリコットは、私たちが車を捨ててポーターを雇った峠の拠点である。トラックの来る最終地点なので、むろんビールはある。峠の茶屋の棚に何本かびんが並



んでいるのを、来るときに眼の隅でみた。

でも、チャリコットまでは大人の脚でも1時間半はかかるのである。

「遠いじゃないか」

「だいじょうぶ。まっ暗にならないうちに帰ってくる」

ものすごい勢いで請けあうので、サブザックとお金を渡して頼んだ。じゃ、大変だけど、できたら4本買ってきてくれ、と。

張りきってとび出して行ったチェトリ君は、8時ころ5本のビールを背負って帰ってきた。私たちの拍手に迎えられて。

——次の日の昼すぎ、撮影現場の見物にやってきたチェトリ君が「きょうはビール要らないのか」ときく。前夜のあの冷えたビールの味がよみがえる。

「要らないことはないけど、大変じゃないか」

「だいじょうぶ。きょうは土曜でもう学校はないし、あしたは休みだし、イスタルをたくさん買ってきてあげる」

STARというラベルのネパールのビールを、現地の人びとは「イスタル」と発音する。嬉しくなって、きのうより大きなザックと1ダースぶん以上のビールが買えるお金を渡した。チェトリ君は、きのう以上に張りきってとび出して行った。

(C ところが/たから/それでも/そして)、④夜になっても帰ってこないのである。夜中近くになっても音沙汰はない。

事故ではないだろうか、と村人に相談すると、⑤「そんな大金をあずけたのなら、逃げたのだ」と口をそろえて言うのである。それだけの金があったら、親のところへ帰ってから首都のカトマンズへだって行ける。きっとそうしたのだ、と。

15歳になるチェトリ君は、一つ山を越えたところにあるもっと小さな村からの村へ来て、下宿して学校に通っている。土間の上にムシロ敷きのベッドを置いただけの、彼の下宿を撮影し話をきいたので、事情はよく知っているのだ。

その土間で朝晩チェトリは、ダミアとジラという香辛料をトウガラシと混ぜて石の間にはさんですり、野菜といっしょに煮て一種のカレーにしたものを、飯にかけて食べながらよく勉強している。暗い土間なので、昼も小さな石油ランプをつけてベッドの上に腹ばいになって勉強している。

そのチェトリが帰ってこないのである。あくる日も帰ってこない。その翌日の月曜日になっても帰ってこない。学校へ行って先生に事情を説明し、謝り、対策を相談したら、先生までが「心配することはない。事故なんかじゃない。それだけの金を持ったのだから、逃げたのだろう」と言うのである。

——⑥歯ざしりするほど後悔した。というっかり日本の感覚で、ネパールの子ど



もにとっては信じられない大金を渡してしまった。そして、⑦あんないい子の一生を狂わした。

でも、やはり事故ではなかろうかと思う。しかし、⑧そうだったら、最悪なのである。

いても立ってもいられない気もちで過ごした⑨3 日目の深夜、宿舎の戸が激しくノックされた。さあ、最悪の凶報か、と戸をあけるとそこにチェトリが立っていたのである。

泥まみれでヨレヨレの格好であった。3 本しかチャリコットにビールがなかったので、山を 4 つも越した別の峠まで行ったという。

合計 10 本買ったのだけれど、ころんで 3 本割ってしまった、とべそをかきながらその破片をせんぶ出してみせ、そして釣銭を出した。

彼の肩を抱いて、私は泣いた。ちかごろあんなに泣いたことはない。そしてあんなに深く、いろいろ反省したこともない。

〔吉田直哉「ネパールのビール」『文藝春秋』文藝春秋社 1990 年 1 月号より〕

〔設問〕

問 1 文章中の A・B・C に入る適当なことばを（ ）の中から選んでください。

(1 x 3 = 3 点)

問 2 下線部①の「4 年も前のことだから、正確には『ちかごろ』ではないのだが」とありますが、なぜ「『ちかごろ』ではない」と断っているのだと思いますか。(3 点)

問 3 下線部②の「ウィスキーとビールとでは、その役割がちがうのである」とありますが、筆者はどのように違うと考えていると思いますか。(3 点)

1. ウィスキーは簡単に運ぶことができる。
2. ビールは水の代わりに飲むことができる。
3. 食事のときには、ウィスキーのほうがいい。
4. 仕事のあとには、ビールのほうがいい。

問 4 下線部③の「禁句」とは、この場合、何を指しますか。(2 点)

1. ウィスキーとビールでは役割が違うということ
2. ビールのことを話題にすること
3. ウィスキーが飲みたいということ
4. 疲れたということ

問 5 下線部④の「夜になっても帰ってこないのである」の原因を文章を最後まで読んで答えてください。(4 点)

1. 3 本割ってしまったので悪いと思ったから



2. チャリコットより遠くにビールを買いに行ったから
3. 両親の家に行っていたから
4. カトマンズに行こうと考えていたから

問6 下線部⑤の「それだけの金があったら、親のところへ帰ってから首都のカトマンズへだって行ける」と村人たちは考えているのだ。そのような見方が出てくる背景を述べていると思われる部分を本文から抜き出して、最初の2字と最後の2字で答えてください。(4点)

問7 下線部⑥の「歯ざしりするほど後悔した」のはなぜでしょうか。(3点)

1. 大金を取られてしまったと思ったから
2. 少年の先生も心配しなかったから
3. ビールが飲めなくなったから
4. 少年の生活を狂わせてしまったと思ったから

問8 下線部⑦の「あんないい子の一生を狂わした」というのは、具体的にはどういう点ですか。(3点)

1. まじめな生活を狂わしてしまった。
2. アルコール類を飲むようにさせてしまった。
3. 村人たちの信頼をなくしてしまった。
4. 両親のもとに帰らせてしまった。

問9 下線部⑧の「そうだったら」は、何を指していますか。(3点)

1. 事故だったら
2. 金を持って逃げたのなら
3. ビールを飲んでしまったら
4. 帰って来なかったら

問10 下線部⑨の「3日目」とは、何曜日ですか。(3点)

六. 次の古文を読んで後の問いに答えなさい。(2×5=10点)

子曰はく、弟子①、入りては則ち孝、出でては則ち弟②、謹んで信に、汎く衆を愛して仁に親づき③、行うて餘力④あれば則ち以て文⑤を學ぶ。

(『論語』より)

- 問1 下線部①の「弟子」の意味を現代日本語に訳しなさい。
- 問2 下線部②の「弟」の意味を現代日本語に訳しなさい。
- 問3 下線部③の「親づき」の意味を現代日本語に訳しなさい。
- 問4 下線部④の「餘力」の意味を現代日本語に訳しなさい。



問5 下線部⑤の「文」の意味を現代日本語に訳しなさい。

七、次の文章を読んで、自分の考えを800字ほど書きなさい(40点)

### 詩 と 科 学

湯 川 秀 樹

詩と科学遠いようで近い。近いようで遠い。どうして遠いと思うのか。科学はきびしい先生のような。いいかげんな返事はできない。こみいった実験室をたんねんにやらねばならぬ。難しい数学も勉強しなければならぬ。詩はやさしいお母さんだ。どんな勝手なことをいっても、たいていは聞いてくださる。詩の世界にはどんな美しい花でもある。どんなにおいしい果物でもある。

しかし何だか近いようにも思われる。どうしてだろうか。出発点が同じだからだ。どちらも自然を見ることと聞くことから始まる。薔薇の花の香りをかぎ、その美しさをたたえる気持ちと、花の形状を調べようとする気持ちの間には、大きな隔たりはない。しかし薔薇の詩をつくるのと顕微鏡を持ち出すのではもう方向が違っている。科学はどんどん進歩して、たくさんの専門にわかれてしまった。いろんな器械がごちゃごちゃに並んでいる実験室、わけのわからぬ数式がどこまでも続く書物。もうそこには詩の影も形も見えない。科学者とはつまり詩を忘れた人である。詩を失った人である。

そんなら一度失った詩はもはや科学の世界にはもどってこないのだろうか。詩というものは気まぐれなものである。ここにあるだろうと思って一生懸命にさがしても詩が見つかるとは限らないのである。ごもごみした実験室の片隅で、科学者は時々思いかげなく詩を発見するのである。素人目にはちっとも面白くない数式の中に、専門家は目に見える花よりもずっとずっと美しい自然の姿をありありとみとめるのである。しかしすべての科学者がかくされた自然の詩に気がつくとは限らない。科学の奥底にふたたび自然の美を見出すことはむしろ少数のすぐれた学者にだけ許された特権であるかもしれない。ただし一人の人によって見つけられた詩は、いくらでも多くの人にわけることができるのである。

いずれにしても、詩と科学とは同じところから出発したばかりではなく、行きつく先も同じなのではなかろうか。そしてそれが遠くはなれているように思われるのは、途中の道筋だけに目をつけるからではなかろうか。どちらの道でもずっと先のほうまでたどって生きさえすればだんだん近寄ってくるのではなかろうか。そればかりではない。二つの道は時々思いかげなく交叉することさえあるのである。